

# 武夫原

第34号

## ごあいさつ



会員の皆さんには平素より武夫原会の活動にご理解ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

各地の地域武夫原会もコロナ禍による中断を経て再度活況を呈するようになり、誠に喜ばしい限りです。今年6月には熊本武夫原会総会及び懇親会も開催

されます。学部支援、現役学生支援も順調です。

一方で、多くの同窓会が直面しております若者の同窓会離れや物価の高騰による財政難は武夫原会も例外ではありません。

武夫原会 会長 深町 公信 (S57法文・法卒)

財政状況改善策の一環として、これまで印刷、郵送して参りました会報を、別紙でご説明しますように、来年度からは原則ウェブ上での閲覧に変更することといたしました。ウェブ閲覧にすることにより、印刷費等の関係で掲載できなかった記事もより豊富な内容でお届けできるようになり、住所不明等で会報をお送りできなかった皆様にもご覧いただくことができるようになります。

皆様には会報のウェブ閲覧にご理解いただき、発行をお知らせするためのメールアドレス登録にもご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 令和7年度 武夫原会チャレンジ支援事業

本事業は文学部、法学部、社会文化科学教育部の学生や院生の意欲的な計画を支援する趣旨で、令和6年度に開始されました。今年度の支援事業は

- ①多文化主義を政府単位で主導するカナダとメキシコ調査
- ②もしもこちらクマホ:誰一人取り残さないために災害ボランティアを派遣し隊
- ③フランスに学ぶ公共交通
- ④由布院の資料整理事業

無事終了し、令和8年2月14日には報告会が開かれました。次年度も引き続き多様な取り組みを支援していく予定です。



チャレンジ支援事業の活動の一コマ

## 寄附講義

今年度寄附講義をご担当くださった講師の皆様です。先輩方が多様な進路を切り拓かれ、最前線で活躍されている姿に接し、学生たちも決意を新たにしたいと思っております。大変ご多用なか、ありがとうございました!



### 2025年度寄附講義一覧

| 講師氏名  | 講師所属先                        |
|-------|------------------------------|
| 樋口 賢吏 | Rapidus株式会社 法務・コンプライアンス部     |
| 小西 博美 | ニッタ株式会社 コーポレートセンター 総務CSRグループ |
| 柳田 一郎 | 社会福祉法人ショコラ かごしまショコラ保育園       |
| 黒木 麻湖 | 株式会社肥後銀行 経営企画部               |
| 西 景朗  | 株式会社肥後銀行 京塚支店 支店長代理          |
| 寺本 早苗 | 宝塚市市議会議員                     |

## 名簿システムへのメールアドレス登録のお願い

武夫原会では、「武夫原会Web名簿システム」で同窓会名簿の管理、運用を行っており、システムにご登録いただいたメールアドレスを通じて、様々な情報発信を行っています。また、Eメールは熊本大学とも共有し、熊本大学の最新情報をお届けする「メールマガジン」の配信にも活用されています。

一方、会報の紙媒体での発送が、武夫原会の財政を圧迫しているため、今後会報は紙媒体での送付から、ウェブ閲覧に移行していく予定です。ついては、「武夫原会Web名簿システム」での連絡先の更新、**個人用のメールアドレスのご登録**を是非ともお願いいたします。

登録は、下記URLまたはQRコードからログインして行ってください。なお、会員コード(ID)とパスワードは会報送付時の宛名用紙に印字されています。 <https://www.web-dousoukai.com/bufugen/weblist/>



# 1年間の活動報告

## 文学部 文学部長 伊藤 正彦



昨年10月、熊本大学文学部にとても嬉しい報せが届きましたので、OBの皆様にご報告いたします。それは、2024年度「全国学生調査」の次の6項目が全国の国立大学(人文分野)内で1位・2位になったことです。Q5. 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される(2位)。Q6. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある(1位)。Q15. 文献・資料を収集・分析する力(2位)。Q16. 論理的に文章を書く力(1位)。Q17. 人に分かりやすく話す力(1位)。Q22. 幅広い知識、ものの見方(2位)。※Q15・16・17・22は、学生が「身についた」と感じ

る能力です。

「全国学生調査」は、全国共通の質問項目によって大学教育の実態を把握することを目的とした文科省と国立教育政策研究所による大規模なアンケート調査です。2024年度の調査では、全国の540大学・132短期大学の学部2年生と4年生等を対象とし、3万人を超える学生が回答しました。熊大文学部が1位・2位となった上記の6項目は、いずれも重視してきた事項です。あくまで学生の意識にもとづく調査で、客観的な評価ではありませんが、教員たちが尽してきた事項が学生たちからも肯定的に受けとめられたことはまちがいありません。これは大きな励みとなるものです。OBの皆様にも喜んでいただけたら幸いです。

## 法学部 法学部長 大日方 信春



2025年度、法学部の活動としては、エルペルクにおいてシンポジウム「国賠訴訟は刑事司法を変えるのか?—冤罪の再発防止に向けて—」を開催しております。袴田事件や大川原化工機事件をはじめ、近時、冤罪事件について耳目を集めている関係で多くの参加者を得ることができ、実りの多いシンポジウムとなりました。

地方においては、学生の勉学にとって有意義な講演会・シンポジウム等がないなか、法学部においては、多くの授業科目においてさまざまなゲストスピーカーをお呼びして、学生の知的関心を喚起する

試みを行ってきております。その中で、本年は前熊本県知事の蒲島郁夫氏をお呼びして、学生の頃のお話、学生生活、県知事としての活動のご経験を伺う機会がありました。

変わったところでは、昨年、文法学部棟A2教室と学生ロビーについて、熊本トヨタ様にネーミングライツのご購入をいただいたことに続き(現在、A2教室は「くまトヨ講義室」に、学生ロビーは「くまトヨロビー」になっております)、本年は、法学部自習室とリフレッシュ・ルームについて、(お弁当の)ヒライ様にネーミングライツのご購入をいただきました。それぞれ「ヒライ自習室」「ヒライ ちくわ サラ太くんリフレッシュ・ルーム」になっております。

## 大学院 社会文化科学教育部長 中内 哲



昨年2025年4月から教育部長を務めております中内哲(なかうちさとし)です。9月に大阪、10月に東京での総会で挨拶する機会を賜りました。よろしくお願い致します。

本年度、大学院は、博士後期課程文化学専攻に、マンガ・アニメ等 ポピュラーカルチャーの研究者を養成する「現代文化資源学領域」を始動させました。国立大学の中では、かなりユニークな存在だけに、この領域を巣立つ修了生が、将来どこで・いかに研究者として活躍するか、今から楽しみです。他方、所属大学院生が研究成果を発

表する場=雑誌『熊本大学社会文化研究』について、最新第24号(本年度末に公刊予定)から紙媒体での発行を終了し電子ジャーナルに一本化します。ぜひURLにアクセスし([https://kumadai.repo.nii.ac.jp/search?search\\_type=2&q=624](https://kumadai.repo.nii.ac.jp/search?search_type=2&q=624))、母校の大学院生がどのような研究に邁進しているか、体感して頂けますと幸いです。

大学院は、皆様社会人をお迎えする様々な工夫を重ねています。いつでも気軽にお問い合わせくださいませ。

(<https://www.gsscs.kumamoto-u.ac.jp/>)

## 在學生はいま 令和7年熊大新聞社より

私たち熊本大学新聞部は、キャンパスで起きる日々の出来事を記録し、学生の視点から発信を続けています。令和7年(2025年)も、大学組織の再編や学生生活に関わる新たな動きなど、多くのニュースがありました。この場をお借りして、私たちが一年間取材してきた記事をもとに、昨年の熊本大学の様子をご報告いたします。

今年、大学の未来に関わる大きな動きとして、文学部の改組が決定しました。令和8年4月より、文学部は現行の4学科体制から1学科に統合され、「人文社会科学科(仮称)」へと生まれ変わります。入学後のミスマッチを防ぎ、学生により広い視野を持たせることが目的とされ、1年次に幅広く学んだ上で、2年進級時に専門コースを選択する仕組みとなります。また、コミュニケーション情報学科の一部が新設される「共創学環」へ合流するなど、学部の枠を越えた新しい学びの形も始まろうとしています。

学びの制度だけでなく、キャンパスの日常風景にも変化がありました。6月下旬には学内にキッチンカーが登場し、試験的な営業が始まりました。昼休みには多くの学生が列を作り、紙面のインタビューでも「気軽に買って美味しい」といった声が聞かれました。一方で、価格面への意見もあり、大学側は学生の反応を踏まえながら本格導入を検討しています。

今年は、大学の歴史にも注目が集まりました。9月29日から放送が始まったNHK連続テレビ小説「ばけげ」の影響で、第五高等学校(現・熊本大学)に改めて関心が寄せられています。赤レンガの五高記念館では常設展示のリニューアルが行われ、貴重な資料が新たに公開されました。ガイドツアーの実施など、地域を巻き込んだ盛り上がりの中で、在學生にとってもキャンパスの歴史を再認識する一年となりました。

11月には、第14回紫熊祭が「1Time 4ever」をテーマに開催され、5年ぶりにアーティストライブが行われ

ました。模擬店やステージ企画、展示など多彩な催しが展開され、キャンパスは多くの来場者で賑わいました。

伝統行事では、10月31日から11月1日にかけて「第60回阿蘇耐久遠歩大会」が開催されました。記念大会として卒業生の参加枠が設けられ、阿蘇山上広場からのスタートも10年ぶりに復活し、節目にふさわしい大会となりました。

一方で、学費値上げの検討という学生生活に直結する問題も浮上しました。全国的な動きの中で、学内では有志の学生が反対アクションに参加し、意見交換会や学長との懇談会が行われました。Wi-Fi環境の改善など、具体的な要望も伝えられ、学生が主体的に声を上げた一年でもありました。

最後に、日頃より私たちの活動を支えてくださるOB・OGの皆様へ心より御礼申し上げます。10月の「Giving Campaign 2025」では多くの応援投票をいただき、大きな励みとなりました。皆様からのご支援を力に、今後も紙面づくりに励んでまいります。

組織や風景、直面する課題が変わっても、学生の熱量は変わりません。私たちはこれからも、変化する熊本大学の今を学生の視点で伝え続けてまいります。今後とも熊本大学新聞を温かく見守っていただけますと幸いです。(文責・熊本大学新聞社)



キャンパスにキッチンカーが!



紫熊祭(学園祭)の最終日の一コマ

### 熊本武夫原会総会及び懇親会開催!

これまで熊本武夫原会総会及び懇親会は5年に1度の大同窓会に併せて開催して参りましたが、今年から新たな試みとして、年次の総会及び懇親会を開催することになりました。

熊本在住の会員のみならず、すべての会員が集う会にしたいと考えておりますので、この機会に是非熊本においでください。詳細は、後ほど武夫原会HPでお知らせいたします。

日時:令和8年6月27日(土)18時

会場:メルパルク熊本(熊本市中央区水道町14-1)

お問い合わせ・申し込み:武夫原会事務局(電話096-342-2459)

## 武夫原教育・研究支援基金

武夫原会では、文学部・法学部・社文教の学生の教育・研究を引き続き支援するため、「武夫原教育・研究支援基金」について、重点的に支援を募っております。

この結果、これまでに総額1,888,000円の寄附をいただいております。令和8年度から、本基金を原資として、「学部充実費」及び「武夫原会チャレンジ支援事業」に支援を行う予定です。支援の詳細については、HP、会報等でご報告してまいりますので、引き続き、皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ご寄附いただいた方のお名前(敬称略)

古閑孝之 松山謙志 宮本善雄 浅原百合子 木村純久  
 大坪邦雄 神崎芳郎 本島昭男 草野龍二 中島礼一  
 木下知精 近藤光弘 渡辺清吉 古賀久恵 児倉静二  
 西中村茂 市原一也 森正人 柴山佳夫 神山憲次郎  
 徳永隆裕 田中賢一郎 桑原和博 深澤達矢 岡本哲夫  
 村里憲一 松田亨 秋吉樹 野口健一郎・恭子 西川毅  
 川竹成稔 藤村重利

※前号に掲載分以降にご寄附いただいた方のお名前を掲載しています。  
 ※本学の広報誌等にお名前の掲載を希望された方のみ掲載しています。  
 ※この他、お名前の掲載を希望されなかった25名の方からも寄附いただきました。

○熊本大学基金のHPはこちら <https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/>

## 地域武夫原会インフォメーション

詳細は武夫原会ホームページをご覧ください。

| 地域交流会       | 2025年度の主な活動報告  | 2026年度の主な活動予定   | 連絡先  |
|-------------|--|---|--|
| 東京<br>武夫原会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月18日 総会及び懇親会</li> <li>・歴史探訪 5月護国寺、12月乃木神社～赤坂</li> <li>・役員会及び幹事会 年6回開催</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会及び懇親会10月17日(土)11時～14時半、於:東京ガーデンパレス)</li> <li>・歴史探訪 春と秋2回開催予定 (東京武夫原会のHPで別途案内)</li> <li>・役員会及び幹事会 年10回程度開催予定</li> </ul>  | 事務局長 市丸 清志<br>電話 090-6263-4757<br>メールアドレス: kei36041961@gmail.com   |
| 名古屋<br>武夫原会 | 本年度は活動実績なし   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月…幹事会の開催</li> <li>・10月…会員総会の開催</li> </ul>  | 事務局長 山田 法夫<br>電話 0567-25-0766<br>メールアドレス: nyamada@clovernet.ne.jp  |
| 関西<br>武夫原会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月6日 第60回関西武夫原会総会懇親会 於:シティプラザ大阪</li> <li>・ハイキング 年2回</li> <li>・ゴルフ会 年2回</li> <li>・常任幹事会 年9回</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月5日(土) 総会懇親会 於:シティプラザ大阪</li> <li>・ハイキング 年2回</li> <li>・ゴルフ会 年2回</li> <li>・常任幹事会 年8回</li> </ul>  | 事務局長 松田 亨<br>電話 090-3825-8513<br>メールアドレス: fwik6923@nifty.com   |
| 福岡<br>武夫原会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月31日 福岡支部総会開催</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回総会開催へ向け幹事会開催予定</li> </ul>   | 事務局担当理事 鳥取 正義<br>電話 090-9606-9906<br>FAX 092-707-4137<br>メールアドレス: qquc4ab9k@abeam.ocn.ne.jp  |
| 熊本<br>武夫原会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月3日 熊本大学ホームカミングデーへの参加による交流</li> <li>・1月20日 職域幹事会(深町武夫原会会長をお迎えして、熊本武夫原会の活性化について意見交換)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会及び懇親会 6月27日(土) 18時～ 於:メルパルク熊本</li> <li>・11月 熊本大学ホームカミングデーへの参加による交流</li> </ul>   | 事務局長 福本 哲也<br>電話 080-1788-9715<br>メールアドレス: aity.f8157@gmail.com  |
| 宮崎<br>武夫原会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月14日 役員会及び懇親会開催(7名参加)。活動計画や役員改選について協議。</li> <li>・10月18日 役員会及び総会をホテルメリージュにて開催(役員会9名、総会24名参加)。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会を開催し、活動計画を決定。</li> <li>・総会及び懇親会を開催。</li> </ul>   | 事務局担当理事 富満 正哉<br>電話090-7297-0190<br>メールアドレス: tommymaasa113700@gmail.com  |
| 鹿児島<br>武夫原会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月8日 定期総会及び懇親会(於:鹿児島サンロイヤルホテル)</li> <li>・幹事会(1回)</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期総会及び幹事会 日時等は未定</li> </ul> <p>※定期総会等に係る連絡は、LINEオープンチャットで行いますので、ぜひご登録を!</p>  | 幹事長 上園 正人<br>メールアドレス: markun3352@gmail.com<br>※連絡する際は、下記の者もccに入れていただきますようお願いいたします。<br>会員 木場 瑛吾<br>メールアドレス: koba.eigo0920@gmail.com |

『武夫原』第34号(題字・永畑恭典氏)  
 令和8年3月15日 発行  
 印刷:プリンティングサービス

編集:熊本大学武夫原会事務局 編集協力:熊本大学新聞社  
 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 熊本大学文・法学部内  
 電話/FAX 096(342)2459 E-mail:bufugen@gpo.kumamoto-u.ac.jp  
 ホームページアドレス:http://www.web-dousoukai.com/bufugen

